

## あいさつの声が響き渡る学校に！

先月、私はある中学校を訪れたときに感銘を受けました。その日は土曜日で、校庭や体育館などで部活動が熱心に行われていました。車を降りて、会議の行われる部屋にたどり着くまでに何人もの生徒と出会いましたが、すべての生徒が顔を上げて、気持ちの良い挨拶をしてくれました。練習の途中であっても、一人一人が帽子を取って、丁寧にお辞儀をし、挨拶してくれる。中にはわざわざ、私のところに来て「どちらの会議ですか。」「その会議は3階の会議室で行われます。こちらです。」と説明してくれる生徒もいました。なんと、素晴らしい対応ができる中学生なのかと驚きました。

本校でも5月23日（月）から保護者の皆さんによる朝の挨拶運動が始まりました。生徒の登校に合わせて早い時間帯からの取組ですが、保護者の皆さんには時間の都合をつけて参加していただき、大変感謝しております。私も急な用がなく、学校にいる場合には朝、生徒一人一人に挨拶するようにしています。私が心がけていることは4つあります。一つ目は、朝あった生徒にはできるだけ全員の目を見て挨拶しようと思っています。しかしながら、全員の目を見て挨拶することは難しく、反対方向を向いて挨拶していると、挨拶してくれていても返せないこともあり、すまない気持ちになることもあります。二つ目は、お辞儀をして、挨拶をすることです。最近では、お辞儀をしてあいさつのできる生徒も増えてきているように思います。三つ目は、相手より先に挨拶をする。先手の挨拶をしようと心がけています。私に気づくなり、挨拶してくれる生徒もいてとても気持ち良く感じられると時があります。最後に、挨拶の前に「〇〇さん、おはよう。」と名前を言えるようになりたいと思っています。まだまだ、顔と名前が一致しないのですが、努力していきます。



挨拶はとても大切なことであり、周りの人とつながりながらより良く生きていく魔法だと思っています。舞鶴中の生徒がいつでも、どこでも、誰にでも、明るく、元気よく、さわやかな挨拶ができる生徒であってほしいと願っています。御家庭でも普段からなにげない挨拶を大事に、挨拶の習慣化に取り組んでいただけたらと思います。